

令和元年度 一般会計歳出決算額

「各世代が笑顔あふ

令和元年度は、「松伏町第5次総合振興計画」の地区別計画に加え、新たに世代別計画を策定した。

評価

- 出 小中学校の普通教室・一部の特別教室（99教室）へのエアコン設置
- 出 老朽化した中間処理場の整備に着手
- 出 食品ロス削減レシピ冊子の作成
- 出 子ども子育て支援センターの設置（保健センター内）
- 出 埼玉県コバトン健康マイレージへの参加
- 出 要保護・準要保護の小中学生へ新入学準備金（小学生一人当たり支給総額4万600円→5万600円、中学生一人当たり支給総額4万7,400円→5万7,400円）
- 出 高齢者福祉タクシー券の申請者446人（前年比240人増）
※運転免許証の所有者に対しても交付対象とした
- 出 3人制バスケットボールコートの新設（田中第2公園）



小中学校への、早期のエアコン設置で児童生徒の教育環境が向上した



まるごとまちごとハザードマップ（町内54ヶ所に設置）



松伏ふるさとカレースタンプラリー

83億9,266万円 **認定** れる町づくり」

9月定例会
9月1日から9月24日

令和元年度決算は、歳入総額 89億 2,332万円、歳出総額 83億 9,266万円、歳入歳出差引残額 5億 3,066万円で、不用額は 3億 5,829万円(前年比 62.4%増)となった。

歳入・歳出ともに 3%台の増で、主な要因は、国庫支出金と繰入金の増加によるものである。

課題

- ①・② 大幅な歳入歳出差額の縮減
(5億3,066万円)
- ①・② 不用額(※)3億5,829万円で、前年比62.4%増(※不用額とは、歳出予算のうち、結果として使用する必要がなくなった額。)
- ① ふるさと納税の内容の充実
- ① 地方交付税の当初予算15億4,000万円→決算17億4,662万円。当初予算でもう少し見込、積極的な事業展開を。
- ② 高齢者福祉タクシー券の申請者対象者は 75歳以上で単身世帯か夫婦のみ。年齢や対象の拡大を。

①…歳入 ②…歳出

議決の結果

- | | | | | | |
|--------|---------|-------|-------|-------|-------|
| 賛成 10人 | ○自民クラブ | 佐藤 永子 | 高橋 昭男 | 田口 義博 | 砂川 清時 |
| | ○未来クラブ | 松岡 高志 | 長谷川真也 | 増田 秀雄 | |
| | ○公明党 | 川上 力 | 村上真由美 | | |
| | ○チェンジ松伏 | 高野 祐大 | | | |
| 反対 4人 | ○無所属クラブ | 福井 和義 | 鈴木 勉 | | |
| | ○共産党 | 吉田 俊一 | 平野 千穂 | | |

【賛成討論】

国・県の交付金や補助金を活用し、町の一般財源の歳出抑制に努めた。道の駅事業は慎重に検討を進めることを希望する。町制50周年を迎え、記念式典や後藤純男画伯の展覧会などで町の魅力をPRした。

【賛成討論】

実質公債費比率・将来負担比率が前年に比べ改善した。田島地区産業団地整理事業とゆめみ野北地区整備事業の推進が図られ評価する。大川戸地区町道3号線歩道の早期実現に向けた整備が促進された。

【反対討論】

高齢化が進んでいるが、高齢福祉事業・紙おむつ支援事業が周辺市町と比べ大変遅れている。健康づくりや元気な高齢者への事業もさらなる充実が必要。